

HOTEL SPA-Mu

季刊 2026.07~09

No.78

じゃんけんスクラッチカード メンバー様限定

9月1日~30日迄

勝ったらパフェ or アイスなど差し上げます。

擦って勝ったらフロントまでご連絡ください。

※ 期間中でもスクラッチカードがなくなり次第終了いたします。

※ 景品は予告なく変更する場合がございます。

ルール 3つの中からひとつを選び10円玉などコインで軽くこすってください。

※ 複数こすってあるものは無効です。※「負け」「あいこ」は残念！



SPA-Mu川柳コンテスト結果発表

四季報前号で募集致しました川柳コンテストに多数のご応募を頂きありがとうございました。
編集部の審査の結果以下の作品を入選作とさせていただきました。



(リファビューテックドライヤー S+)

044476様 川沿いの 静かな部屋で 君を待つ



(リファファインバブル ワン)

042606様 久々の 火照る体に スパムの湯



(リファハートブラシorリファハートコームアイラ)

041480様 ランチだと 喜び入るも 時間切れ

043987様 川の音 ふたり聞き入る 宿めいて



佳作賞(1000pt)

044520様 042466様 045032様

044971様 036788様 036310様

※金・銀・銅賞のお客様はご来店時にフロントまでご連絡ください。賞品をお持ち致します。

ラッキールーム開催

8月5日～9月30日まで

動物園から熊が逃げ出してホテルスパムに迷い込んでしまったらしい・・・もしお部屋に居たら、優しく捕獲してください。（連れて行かないでください）
捕獲しましたらフロントまでご連絡ください。
お礼を差し上げます。

お礼の品はこちらからお選びください（写真はイメージです）



アイス



ビールorソフトドリンク



リンツのチョコレート



大好評クロスワードパズル

7月6日～9月30日まで

○スパムメンバー登録が必要です。

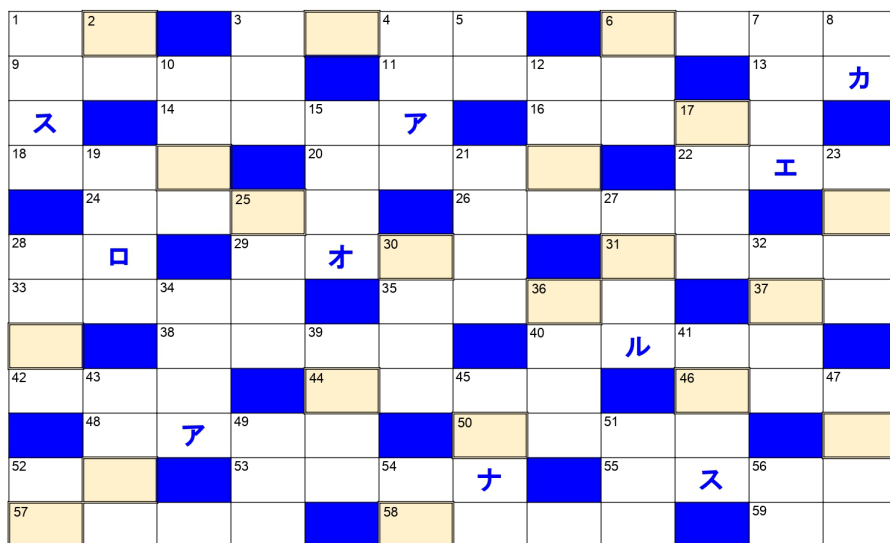
※メンバー様限定

（メンバーズカードを精算機に差し込んだ後にご連絡ください）

まず最初に、横のカギと縦のカギをヒントにパズルを完成させましょう。次に、二重線で囲まれた黄色マスの20文字を余りなく組み合わせて、以下のキーワードを作ってください。

1. 動物名A 2. 動物名B 3. 植物名 4. 通貨名 5. 地形名 6. 職業名

これらのキーワードから連想される「文学作品名」をお答えください。



《ヒント》
キーワードの幾つかは
作者に関連します

※作品名が閃いたお客さまは、期間内にフロント9番までご連絡ください。ご正解の場合はメンバーズ2000ポイントを進呈いたします。 ※メンバー様に限りです。期間内にポイントを受け取れるのは一度だけとさせていただきます。獲得ポイントの反映に数日かかる場合があります。）

答えが解ったらメンバーズNo.と答えをフロントに
電話して言って下さい。
全問正解されたメンバー様には粗品をプレゼントします。



正解イラスト



間違いイラスト

Food & Service フード&サービス

納涼フェアー (7月~8月20日迄)

※詳しくは机の上の各フェアのポップをご覧ください。

※写真はイメージです。



冷やしつけ麺ラーメン



アロハロコモプレート



イタリアンなライスサラダ丼



ぶっかけうどん



管理人 コラム

【私が中国ドラマに沼った作品】

私が中国ドラマを観るようになってから、早いもので10年近くが経ちました。最初にハマったのが、魏の天才軍師・司馬懿(しばい)の生涯を描いた『三国志～司馬懿 軍師連盟～』です。総製作費68億円を投じ、諸葛亮の宿敵である司馬懿の視点から三国志の頭脳戦を壮大に描いた歴史超大作です。

中国歴史ドラマの特長としては、まずは1作品が数十話に及ぶ長い話と、潤沢な制作費が使えるエンターテインメントの世界の違いでした。

俳優陣も、日本の約10倍の人口の中から選りすぐられた猛者たちが繰り広げる、まさに命がけの演技合戦。彼らの凄まじい熱量に圧倒され、私は一気にその世界へ引き込まれました。



そんな「男たちの壮大な頭脳戦」に魅了された私が、次に気になって観たのが『明蘭～才媛の春～』です。こちらは打って変わって、北宋の時代の大家族を舞台にした、いわば「お家騒動」を描いた物語です。身分の低い側室の娘として生まれたヒロイン・明蘭が、理不尽な逆境の中で自分の才気を隠し、耐え忍びながらも、優れた知恵で家族や家を守り抜いていくサクセスストーリーです。派手な合戦こそありませんが、屋敷の裏で繰り広げられる人間模様や、言葉の裏に隠された静かで容赦のない心理戦は、軍師連盟に負けず劣らずのスリリングさ。

中国ドラマは、国を揺るがす大戦争から、一つの家族の緻密な心理劇まで、その表現の幅広さと奥深さで私を全く飽きさせません。

この2作で中国ドラマの底知れない奥深さに触れた私が、次に夢中で観たのが『山河月明(永楽帝～大明天下の輝き～)』でした。本作は、明時代の初期を築いた初代皇帝・洪武帝から、3代皇帝・永楽帝の時代を描いた壮大な歴史絵巻です。こちらもやはり俳優陣の演技が素晴らしく、一瞬たりとも目が離せませんでした。興味深いのは、描かれている「時代」そのものです。日本で中国歴史ものといえば、秦の始皇帝の時代や三国志の時代が圧倒的に有名ですが、本場・中国では、この明の全盛期を築いた永楽帝の時代が非常に好まれているように感じます。激動の建国期を経て、国家としてのシステムを強固にし、世界へ打って出た大明帝国。その圧倒的な国力と、宮廷内で繰り広げられる骨肉の権力闘争、そして皇帝としての孤独と決断。本国の視聴者が熱狂するのも納得の、まさに「中国歴史の真髄」がここに詰まっていた。

三国志から始まり、お家騒動、そして明の全盛期へ——。知れば知るほど、また新しい時代や作品へと手が伸びてしまう。これが、私が10年間飽きることなく、中国ドラマという果てしない大海原を旅し続けている理由なのです。

ご興味がありましたら、これらの作品を是非一度ご覧くださいませ!

